

EU Indicators

欧州経済指標コメント：2月ユーロ圏PMI、ドイツIfo

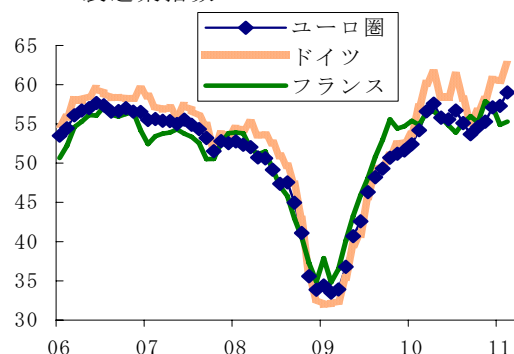
発表日：2011年2月22日(火)

～1-3月期の景気は順調な滑り出し～

第一生命経済研究所 経済調査部
主任エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

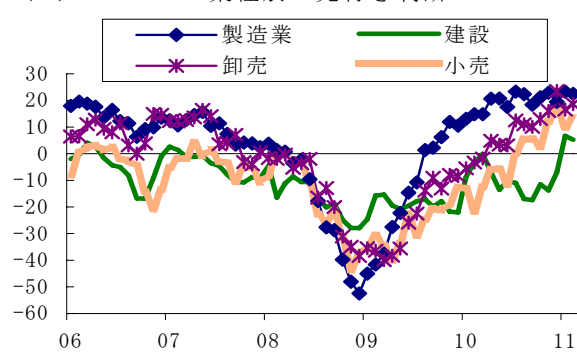
- 2月のユーロ圏のPMI総合指数は前月から1.4ポイント改善し、2006年7月以来の高水準を記録した。国別・業種別には、ドイツの製造業、フランスのサービス業が改善を牽引したことに加え、回復の遅れていた独仏以外の国でも輸出向けを中心に製造業活動に回復の動きが広がってきた（但し、独仏以外の内訳は非公表）。周辺国の落ち込みが緩和してきたことで、域内景況格差はやや縮小方向にある。
- 発表元のMarkitによれば、同月の指数水準から概算した1-3月期のユーロ圏の実質GDP成長率は前期比+0.7%程度と、昨年10-12月期の同+0.3%から加速する見込み。なお、生産・小売統計で見られた天候要因による12月計数の大幅な下振れは、過去数ヶ月のPMI指数では明確な形では確認できない。寒波要因の反動増を含めれば、1-3月期の成長率は上記試算をさらに上振れすると考えることも可能だ。
- 政策金利の行方を占ううえで注目を集める物価関連では、産出物価判断の前月からの変化幅が、単月では統計開始以来の最大の上昇を記録。特に製造業において価格転嫁の動きが広がりつつある。
- 同日発表されたドイツのIfo企業景況感指数（現況判断と先行き判断の合成指数、2000年=100）は前月から0.9ポイント改善し（前月：110.3→今月：111.2）、前月に続き東西ドイツ統一後の最高水準を更新。現況判断（112.8→114.7）が一段と上向いたことが主因で、先行き判断（107.8→107.9）は僅かな改善にとどまった。別途公表されたサービス業の業況判断指数（未季調値）は、現況・先行き判断ともに一段と上向いており、内需全般に回復の動きが広がってきたとの判断を裏付ける内容。

■ PMI 製造業指数



出所：Markit

■ ドイツ：Ifo 業種別の先行き判断



出所：Ifo

■ PMI 指数（季節調整済み）

		2010				2011							
		1Q	2Q	3Q	4Q	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
ユーロ圏	総合産出指数	54.4	56.6	55.7	54.9	56.7	56.2	54.1	53.8	55.5	55.5	57.0	58.4
	製造業PMI指数	54.4	56.3	55.2	55.7	56.7	55.1	53.7	54.6	55.3	57.1	57.3	59.0
	サービス業業況指数	52.8	55.8	55.3	54.3	55.8	55.9	54.1	53.3	55.4	54.2	55.9	57.2
ドイツ	製造業PMI指数	57.0	59.4	58.2	58.5	61.2	58.2	55.1	56.6	58.1	60.7	60.5	62.6
	サービス業業況指数	53.0	54.9	56.2	58.1	56.5	57.2	54.9	56.0	59.2	59.2	60.3	59.5
フランス	製造業PMI指数	55.6	55.7	55.0	56.8	53.9	55.1	56.0	55.2	57.9	57.2	54.9	55.3
	サービス業業況指数	54.9	60.5	59.9	54.9	61.1	60.4	58.2	54.8	55.0	54.9	57.8	60.8

出所：Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。